

特定非営利活動法人 りんりん



— この世の彼岸 —

この原稿を書いている9月末の今、りんりんの北側にある矢勝川の土手が彼岸花で赤く彩られ、たくさんの方が散策しています。土手を200万本の花が埋め尽くし、正にこの世で彼岸にいる心地かと思えます。

小栗大造さん（矢勝川の環境を守る会代表）が亡き戦友の鎮魂のため新美南吉の童話「ごんぎつね」に出てくる彼岸花を矢勝川に咲かせようと土手通いを初めて17年。その努力と思いの強さがこの世の*彼岸を創り出し訪れた人々は幸福を頂戴しています。私自身もこの地にりんりんがあることの幸せを体一杯に感じてると同時にたった一人の思いが周りの人々の心を動かしたという現実、希望を与えていただいています。



今の社会の閉鎖感や不安に将来の希望など持てなくなる時、私はこの彼岸花の土手に励まされているのです。小栗さんは亡き戦友のために努力し続けていらっしゃいますが、私は安心して住み続けられる地域にするために小さなことを積み重ねていきたいと思っています。

この風景を「曼陀羅の世界」と表現なさる小栗さんとこの土手で時々腰掛けてお話するひとときが私には至福のときです。皆さんも来年は是非お出かけ下さい。

理事長 村上真喜子

『彼岸花なぜに悲願花幾年を念じて来ればこれ悲願花』

小栗 大造

※彼岸…河の向こう岸、生死の海を渡って到達する、終局、理想、悟りの世界（広辞苑）

第3回 りんりん作品展

今年は日曜日と重なった秋分の日の9月23日に、「第3回りんりん作品展」が開催されました。

デイサービス
やなべご利用
の方々による
“ちぎり絵”の
大きなパネル
があります。
ごんぎつねと
権現山と彼岸
花がモチーフ
になっています。



岸野幸子先生の絵手紙
コーナーは毎年体験をす
る人で賑わいます。宮池
小の三年生二人が懸命に
絵筆を動かしています。
テーブルの上には画材用
に、緑色の“ゴーヤ”に
混じて鮮やかなオレンジ
色の“ゴーヤ”も置か
れていてびっくり。ミニト
マトやシシトウもあります。
壁にはいろいろな大きさ
の紙に、思い思いの図柄
と文字で描かれた絵手紙
が飾られています。山車
まつりの大きな作品も
あります。

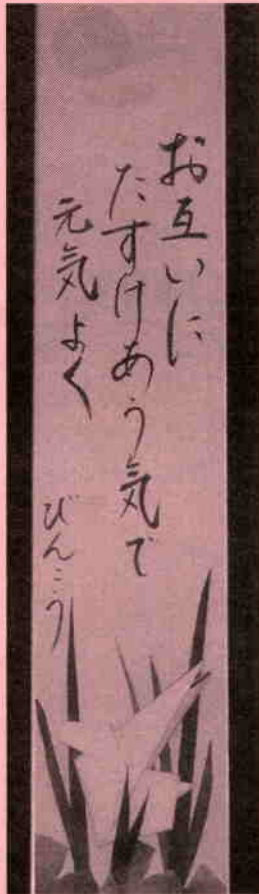


色とりどりに染められた
ガーゼのマフラー、郷愁を
感じる巾着袋、大島紬や銘
仙など和風の布を取り合わ
せたショルダーバッグ、革
製のポーチ、にわたりの鍋
つかみ、布製のコースター、
小銭入れ、ティッシュケース、
布の小袋、アームバンド、

ブローチ、牛乳パックの空箱に和風の布をかぶせた六角形の椅子—小物の即売コーナーはなかなかの人気です。黒の縞の布に和風の残り布で丁寧にパッチワークを施した素敵なのれんやタペストリーもあります。



さをり織りのコーナーは今年も即売品の中から気に入るものを探す人で賑わっています。作品の中でも長袖のTシャツにさをり織りの布を当て、はめ込む手の込んだ作品が圧巻です。



タティングレースのコーナーの杉田久代先生は、丹念に編まれたタティングレースの上着を着ておられます。

小さなブローチからタティングレースをあしらった大きなタペストリーまで所狭しと飾られています。今年は、オーガンジーを特殊加工した軽く透けるブローチが人気のようです。





りんりんの
建物と矢勝川
の土手を結ぶ
道沿いにテン
トを張って“フ
リーマーケット”
が開店して
います。本
衣類、食器な
どが並んで
います。売り子
の軽口に乗っ

て通りすぎりの人たちが冷やかしたり、冷やかされたり賑やかなこと。土手近くでは氷で冷やしたメロンソーダとラムネを売っています。村上代表がそばに立って、彼岸花を見に来た人たちにさかんに呼びかけます。「かけそばが200円で食べられます、お茶も出ます。いかがですか。すぐ突き当たりの所でーす。」



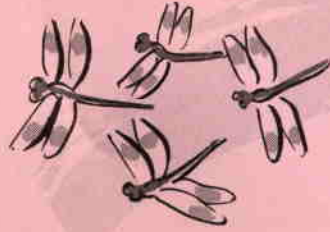
白玉ぜんざいは
去年と同じですが、
なんと今年は1杯
200円のかげそば
が登場。お昼には
少し早い時間なの
にもう若いお母さ
んが子供たちとか
げそばを食べて
います。かなり年
齢の高い親子連れ
もかけそば派です。



氏家裕子先生のビー
ズアクセサリーコー
ナーは、鏡を見なが
らイヤリングをはめ
てみる人が何人も
います。イヤリング、
ネックレス、指輪
いずれも色味を抑
えたものに人気
があるようです。

ほんにちは

今が一番幸せです



鈴木たみ子さん(91歳)

戦争中に結婚し2人の子を授かりました。当時どの家庭もそうですが、主人が出征し、生活のため2人の子を親に預け、働きに出ました。

幸いに、主人は無事戦地から戻りましたが、その7、8年後に亡くなりました。全部で4人になっていた子どもたちをどうやって育てようかと、途方にくれたとても辛い時期でした。当時女性の働き口はごく限られていたので、はたおりをやったり子守をしたりできることはなんでもやりました。子ども4人、私、母と6人で死ぬしかないと思ったこともありました。ようやく生活保護が認められましたが、このことが私の人生で1番嬉しかったことです。

朝の5時から夜の10時まで働きました。幼い子供たちの顔をゆっくり見ることもできない暮らしで、疲れてフラフラの時、姉の励ましの手紙で気を取り直したことも、遠い思い出です。

母が子供たちの面倒を見てくれ、なんとか元気でやってこれたことも幸いでした。この頃信仰を持ったことも心の支えになりました。コツコツ貯めたお金で家も建てることができ今では孫やひ孫も増え、子供たちもよく気にかけてくれてありがたいです。

思えば私は12才から70才までずっと働いてきました。皆が貧しく、生きることに必死だった時代。貧しさを恥じることもなく、他をうらやむこともなく、それぞれが日々の暮らしに一生懸命でした。そんな時代だったから私でもやってこれました。今のこの豊かな時代だったらとてもできなかったと思います。

いま週1回りりんのデイサービスでお世話になっています。時には「今日は気が進まないわ」と思っているけど一旦出かけると、皆さんとおしゃべりしたり、おいしい食事を頂いているうちに気分もすっきりしてきます。今が一番幸せです。


ありがとうございます 皆さまの温かいご支援が
りんりんを支えています。

ご寄付ありがとうございます

榊原 裕子 水野 陽子 森 治典 榊原 照子 榊原 幸宏
間瀬 勝也 沢田ちえ子 榊原 初美 今枝 明子 (敬称略)
りんりん作品展でたくさんの方からご寄付を頂きました。

平成19年度賛助会員

片山さち子 坂本 千代 内藤 敏子 (敬称略)

半田市では 

「産後期支援ホームヘルパー派遣事業」をしています!!


半田市は昼間に産後の母親及び乳児の介助者がいない家庭にホームヘルパーの派遣をしています。


【対象者】
※体調不良のため、身の回りのことや家事・育児が困難な母親
※複数で出生した乳児を養育する母親

【サービスの内容】
※育児に関すること ※家事に関すること

【利用期間】
出産後2ヶ月以内で15日間を限度とする。
(1回の派遣は2時間以内)

【申し込み・問い合わせ】
半田市福祉部児童課児童担当 ☎(0569)21-3111 内線 295



 **りんりんではヘルパー派遣の委託を受けています**

りんりんのできごと

研修会
6月 「認知症について」…………… 43名
7月 「記録の書き方と事例検討」…………… 36名

	6月	7月	8月
絵 手 紙	18名	16名	23名
さをり織り	39名	61名	26名
生き生きサロン	120名	117名	97名
小物づくり	7名	8名	休み
タティングレース	5名	4名	4名

(延べ利用人数)

会員数

協力会員	利用会員	賛助会員	合計
108名	93名	69名	270名

(H19/9/30現在)